

令和 7 年度

事業計画書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

公益社団法人日本装削蹄協会

令和 7 年度事業計画書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

本会は、馬及び牛のフットケアを推進することにより、健康で能力を十分に発揮できる馬や牛が馬スポーツ及び畜産において利活用され、もって馬スポーツを通じた国民の心身の健全な発達及び国民への畜産物の安定供給に寄与することを目的とし、関係団体の協力を得て、以下の事業を実施する。

1 フットケアの普及啓発に関する事業

「装蹄」

(1) 馬のフットケア・ベーシックセミナー

馬愛好者や飼養者が日常の馬の管理の中で認定装蹄師と情報交換ができるよう、馬の蹄の基礎知識に関するセミナーを装蹄教育センターなどで開催する。

(2) オープンキャンパス

入講希望者や一般参加者に対し、装蹄師の仕事内容や装蹄教育センターの認定講習会及び施設等を直接体験してもらうために、ホームページ等で開催告知のうえオープンキャンパスを開催する。

「牛削蹄」

(1) 牛削蹄技術普及事業（JRA 畜産振興事業）

牛削蹄技術や知識に関する動画教材を企画・作成し Web 媒体などを利用して、牛削蹄師および牛の飼養管理者に向けて広く削蹄技術の普及を行う。

(2) 牛削蹄師スキルアップ講習会（JRA 畜産振興事業）

全国牛削蹄競技大会の予選大会であるブロック大会開催時などの機会を活用して、削蹄技術の向上と最新知識の普及を図るための講習会を開催する。

(3) 牛削蹄技術導入普及事業

学術集会、カンファレンスや全国牛共進会等への参加で得た知見を牛削蹄師や関係者へ向けて広く普及を行う。

「共通」

(1) 機関誌「蹄」の発行

本会の事業内容や馬及び牛のフットケアに関する最新情報を発信するため、機関誌「蹄」を年 4 回発行し構成員や関係団体等に配布する。

(2) ホームページの運営管理

本会の事業内容や講習会の開催案内、フットケア関連知識、護蹄研究会等の各種情報についてホームページに随時掲載し、幅広く情報提供を行う。

2 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の養成に関する事業

「認定装蹄師」

(1) 2級認定装蹄師認定講習会及び認定試験

装蹄教育センター第31期講習生を対象に認定装蹄師を養成するための講習会を4月より約1年間にわたり開催し、認定試験を実施する。

また、第32期講習生を募集し入講選考試験を実施する。

(2) 1級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験

資格者昇級研修会及び昇級試験を令和8年1月に実施する。

(3) 指導級認定装蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験

資格者昇給研修会及び昇級試験を令和8年2月に実施する。

(4) 認定試験委員会

認定装蹄師の認定試験及び昇級試験の問題作成と試験の合否判定のための委員会を開催する。

「認定牛削蹄師」

(1) 2級認定牛削蹄師認定講習会及び認定試験（JRA 畜産振興事業）

認定牛削蹄師を養成するため、実技と学科で構成する講習会と認定試験を、全国7か所で開催する。なお、講習会の日時・場所等については、ホームページにおいて随時広報する。

(2) 1級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（JRA 畜産振興事業）

資格者昇級研修会及び昇級試験を実施する。なお、開催要項等についてはホームページにおいて随時広報する。

(3) 指導級認定牛削蹄師資格者昇級研修会及び昇級試験（JRA 畜産振興事業）

資格者昇級研修会及び昇級試験を実施する。なお、開催要項等についてはホームページにおいて随時広報する。

(4) 認定試験委員会

認定牛削蹄師の認定試験及び昇級試験の問題作成と試験の合否判定のための委員会を開催する。

3 資格認定に関する事業

認定試験等に合格し認定資格の申請を行った者を対象に、認定資格審査会の審査を得て認定装蹄師と認定牛削蹄師の資格を認定する。

また、5年毎に申請のあった認定装蹄師と認定牛削蹄師に対し、認定資格の更新を行う。

4 認定装蹄師及び認定牛削蹄師の技術等の向上に関する事業

「認定装蹄師」

(1) 馬装蹄技術向上研究会（NAR 畜産振興補助事業）

全国を7ブロック（北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国・九州）に区分し、その中の2ブロックで認定装蹄師及び馬関係者を対象に、装蹄技術の最新情報および装蹄師の労働環境に係わる講習会を地方競馬場において開催する。

- ・関西ブロック：兵庫県装蹄師会 園田競馬場 6月～8月
- ・北海道ブロック：北海道地方競馬装蹄師会 門別・帯広競馬場 1月～2月

(2) 第76回全国装蹄競技大会（農林水産祭参加）

認定装蹄師の装蹄技術の向上を図り、馬の能力増進に資することを目的として、全国装蹄競技大会を10月20日（月）・21日（火）に、装蹄教育センターにおいて開催する。

(3) 外国人装蹄師招聘事業（日本中央競馬会弘済会助成事業）

海外の最新装蹄技術の普及を図るため、11月または12月に海外から装蹄教育センターへ優秀な装蹄師を招聘し、装蹄等の実技指導を行う。

(4) 国際装蹄技術交流事業（NAR 畜産振興補助事業）

我が国の装蹄技術の向上を図るため、令和6年度の全国装蹄競技大会優勝者及び1級昇級試験優秀者各1名を令和8年3月に米国で開催される装蹄競技大会に選手として派遣する。また、帰国後は派遣者装蹄師による報告研修会を実施する。

なお、同大会に併せて米国の装蹄事情や最新の関連情報を調査するため、本会役職員を派遣する。

(5) 装蹄競技会及び研修会等への協力

正会員（地方会）や関係業界等が主催する装蹄競技会の審査員や研修会等の講師として、本会役職員を派遣し、馬のフットケアの技術向上及び知識の普及を図る。

(6) 技術検討委員会（装蹄部会）

認定装蹄師の技術向上に資するため、全国装蹄競技大会に関する具体的な競技内容等を検討する委員会を開催する。

「認定牛削蹄師」

(1) 第66回全国牛削蹄競技大会（農林水産祭参加）

認定牛削蹄師の技術の向上を図るため、全国牛削蹄競技大会を11月11日（火）に、笠間瑞穂（株）鯉淵分場および（公財）鯉淵学園 鯉淵学園農業栄養専門学校で開催する。

(2) 外国人牛蹄講師招聘事業(日本中央競馬会弘済会助成事業)

牛蹄に関する知識と削蹄技術の普及を図るために、8月に外国人講師を招聘し、北海道及び九州で講習会を開催する。

(3) 牛削蹄競技会及び研修会等への協力

正会員(地方会)や関係業界等が主催する牛削蹄競技会の審査員や研修等の講師として、本会役職員を随時派遣し、牛のフットケアの技術向上と知識の普及を図る。

(4) 技術検討委員会(牛削蹄部会)

認定牛削蹄師の技術向上に資するため、全国牛削蹄競技大会に関する具体的な競技内容等を検討する委員会を開催する。